

「1人1台端末」 の授業に向けて

くわしくは 学校教育課 教育指導係 ☎0288-21-5181

「1人1台端末」とは

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国は教育の情報化を予定より大幅に前倒しして推進しています。

そこで、日光市は、各小中学校の児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備し、さらに、学校内の無線通信(Wi-Fi)環境の整備を進めています。これにより、令和3年度から教育の情報化を推進し、児童生徒が、必要な情報を集める力、情報をもとに問題を解決する力が一層確実に身につくような教育活動を積極的に行っていきます。

学校のなにが変わるの？

1人1台端末の実施により、以下のような学習がより充実します。



授業

- ☑ 写真、動画などの記録と、それを生かした資料、作品の制作
- ☑ 教科書付録のコードを読み取ることで解説、映像など補助的な資料を活用した学習
- ☑ インターネットを使い、必要な情報を個別に得ることができる調べ学習
- ☑ 論理的な考え方を育てるための、いろいろな条件をパズルのように組み合わせ、映像や教材を動かしていく学習
- ☑ 専用ソフトにより、各自の考えをグループや学級全体で共有したり、多様な意見に触れたりする学習 など



家庭学習

- ☑ タブレット端末を持ち帰り、家庭で課題を進める学習活動など



遠隔教育

- ☑ 他の学校との交流授業
- ☑ 遠隔地からの専門家による講話 など



市は、今後も各学校と連携をして、持続可能な未来を創造するために情報を活用できる子どもの育成を目指します。

3月20日は 「日光市民の日」です

くわしくは 総務課 総務係 ☎0288-21-5130

3月20日は「日光市民の日」です。

日光市は、平成18年3月20日、当時の今市市、日光市、藤原町、足尾町、栗山村の2市2町1村が合併して誕生しました。

平成28年3月20日には、市制施行から10周年を迎え、これを機に、市民が郷土に愛着と誇りを持ち、市民としての一体感と自治の意識を育み、活力に満ちた魅力ある日光市を築くことを期する日として、3月20日を日光市民の日とする「日光市民の日条例」を制定しました。

日本で3番目となる広大な面積に、世界遺産や温泉、豊かな自然環境など魅力ある観光資源を有する日光市。日光市民の日を機に、ふるさとの魅力を見つめ直してみたいはいかがでしょうか。

※例年、「日光市民の日」にあわせて実施している市営の温泉施設と観光施設の無料開放については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせていただきます

令和2年度

コミュニティ助成事業 の実績をお知らせします

くわしくは 地域振興課 市民協働推進係 ☎0288(21)5147

コミュニティ助成事業とは

一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、地域コミュニティ活動の充実・強化による地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に、コミュニティ活動に必要な備品などの整備に対して助成を行う事業です。

令和2年度の整備状況

市は、地域防災力の向上のため、この事業を活用し、高原、つつじヶ丘、朝日ヶ丘、藤原、霧降自治会、川治自治会、大原、大原住宅、芹沢、小原の10の各自主防災組織に対し、テント、発電機、ガソリン携行缶、三脚付投光器、コードリール、はしご兼用脚立などの防災資機材を整備しました。

また、大沢地区の25の自治会が使用できるように、折りたたみ椅子、ファンヒーター、エアコン、コードレスファン・充電器・バッテリーな

どの備品を整備しました。

市は、自治会や自主防災会など、地域コミュニティの活性化に向けて、このコミュニティ助成事業の他、さまざまな支援を行っています。皆さんが暮らすまちを、より一層

住みやすく、安全で安心できるものにするためには、地域の絆が大きな力になります。コミュニティ活動に積極的に参加し、地域の元氣アップを図りましょう!!

